



発行所
紀勢新聞社
〒519-3639
三重県尾鷲市中川1-22
TEL.0597-23-3344(代)
FAX0597-22-1471
振替口座 00820-2-15691

紀勢新聞
尾鷲地区販売店

●向井地区(上野)	☎22-4619
●大曾根地区(和田)	☎23-1373
●行野地区(岩崎)	☎22-8805
●須賀利地区(世古)	☎26-2221
●九鬼地区(松葉)	☎29-2360
●早田地区(三木)	☎29-2565
●三木浦地区(上村)	☎28-3178
●三木里地区(山本)	☎28-2179
●賀田・古江・(榎本)	☎27-2504
●堤賀地区(中川)	☎27-2168

知育ゲームに尾鷲ヒノキ

15日から
全国販売 「どうぶつしょうぎ特選」

紀北町産の尾鷲ヒノキを使った知育ゲーム「どうぶつしょうぎ特選」が十五日、幻冬舎エデュケーション(東京)から全国発売される。紀北町は、国産材の活用促進による温暖化防止を目的に、十月一日にスタートした東京都港区の「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」に県内で初めて参加しており、その証である「unim4m(ユニフォーム)マーク」が付いた国内初のおもちゃで、町内産木材のPRやさらなる活用への広がり期待されている。

紀北町unim4m材

PRや今後の活用に期待

今回発売されるの「どうぶつしょうぎ」は、二〇〇九年九月に「つしようぎ」の贈答用。前作は中国産で動物のイラストシールを貼っていたが、今回は



15日に全国販売される「どうぶつしょうぎ特選」と川畑さん

駒に紀北町産の尾鷲ヒノキ、将棋盤と駒ゲージに岡山産のヒノキを使い、広島県で一つ一つ丁寧に手作り加工した。ヒノキの木目の自然な風合いを生かした無塗装で、イラストの印刷も玩具安全基準(「S T基準」)に合格したインクを使ったシルクプリントを採用。誤って子どもがなめても安全とされ、ヒノキの香りもよく、試作品を持参したところ取引先にも好評で、同社では千個の予約を見込んでいたところ、既に五千個の予約があるとのこと。今月中の追加分も含めて、一万个に紀北町のヒノキ材が使われることになった。

「国産材のおもちゃを作りたいので、一緒にやらないか」の誘いを受けて開発に参加。その第一弾としてどうぶつしょうぎ特選を作ることになったもので、川畑さんは年輪が緻密で強度が高く、質のよい尾鷲ヒノキの使用を提案。unim4mマークの付いた初めてのおもちゃとなり、認証制度を主導した港区内の保育園や幼稚園、小学校などへの納品も決まっているという。

同町産の尾鷲ヒノキが採用されたきっかけは、発売元の幻冬舎エデュケーションが今年三月、国産ヒノキを使ったおもちゃや雑貨などを販売するグリーンママ(東京)の川畑理子代表に相談したこと。川畑さんは速水林業代表・速水亨さんの二女で、建築部材として

は町内外に十四社あり、幻冬舎エデュケーションもその一つ。町内の登録業者で、今回五千セット分の製材を出荷した植村材木店の植村一英さんは「普段は業者を相手にしているが、広く一般消費者に知ってもらいたいきっかけになる」、町内業者の窓口を担っている森林組合おわせの濱田長宏主任は「港区自身がかんな使い方があのかと驚いていた。今後、町内で新たなおもちゃを製品にまで仕上げて出荷できるようになれば、いろんな人が携われるようになる」と、どうぶつしょうぎに続く新たな展開に期待する。

どうぶつしょうぎは女流棋士の北尾まどかさんが考案したもので、盤は縦四升、横三升の十二升(縦二九・五升×横一九升×厚さ一・五升)。駒は四升四方、厚さ二・五升を八枚あり、将棋の歩が「ひよこ」(と金は「にわとり」)、角が「ぞう」、飛車が「きりん」、王が「ライオン」に相当する子ども用の簡易版将棋で、動物のイラストも元女流棋士の藤田麻衣子さんが担当。前作の累計販売三十三万個は、おもちゃ業界では百年に一度のヒットといわれている。

東紀州観光協議会は、十八日午後二時から尾鷲市坂場西町の尾鷲庁舎で開く「水産加工品セミナー」の参加者を募集している。新日本スーパーマーケット協会の飯塚理夫氏と中島祥雄氏が講師を務め、「いい商品と売れる商品」「良い赤り込みとは」と題してそれぞれ講演する。飯塚氏は一九七六(昭和五二)年UCC(昭和五二)年UCC上島珈琲入社後、本社マーケティング本部で製品開発、販売促進および社員教育を担当。〇三年に退職後、

どうぶつしょうぎ特選は、税抜き三千五百円で、対象年齢三歳以上。全国の大手書店や百貨店のおもちゃ売り場などで販売するとい

ライトともし Xマスツリー ひのきアート教室

尾鷲市向井の県立熊野古道センターは、十七日(日)に開く「ひのきアート教室」の参加者を募集している。尾鷲ヒノキの間伐材やヒノキシートを使って季節のインテリアや

いい商品と 18日水産加工品セミナー

東紀州観光協議会は、十八日午後二時から尾鷲市坂場西町の尾鷲庁舎で開く「水産加工品セミナー」の参加者を募集している。新日本スーパーマーケット協会の飯塚理夫氏と中島祥雄氏が講師を務め、「いい商品と売れる商品」「良い赤り込みとは」と題してそれぞれ講演する。飯塚氏は一九七六(昭和五二)年UCC(昭和五二)年UCC上島珈琲入社後、本社マーケティング本部で製品開発、販売促進および社員教育を担当。〇三年に退職後、

有限会社「アイビーエ